三重交通グループ

証券コード：3232

2026年3月期 決算説明会

2026年５月27日

三重交通グループホールディングス株式会社

目次

2026年3月期 決算概要

決算概要 3
運輸セグメント 4
不動産セグメント 5
流通セグメント 6
レジャー・サービスセグメント 7
営業利益の増減要因 8
貸借対照表 9
キャッシュ・フロー計算書 10

2027年3月期 業績予想

業績予想 12
営業利益の増減要因 14

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

基本方針及び成長イメージ 16
運輸セグメント 17
不動産セグメント 19

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

流通セグメント 22
レジャー･サービスセグメント 23
イベント需要 25
イベント需要／インバウンド需要 26
ESG課題の解決によるSDGsの達成 27
投資 29
数値計画 30
配当及び配当性向の推移 31
資本コストや株価を意識した経営について 32

参考資料

会社概要 34
沿革 35

お問い合わせ先 36

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 決算概要

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

決算概要

運輸セグメント及びレジャー・サービスセグメントにおいて万博関連需要の取込みに努めたことに加え、流通セグメントで新車販売の拡大に取り組んだ結果、

５期連続の増収増益となりました。また、**各利益項目は３期連続で過去最高**となりました。

単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	前期比		特記事項
			増減額	増減率	
営業収益	**103,849**	**110,260**	**6,411**	**6.2%**	**５期連続増収**
運輸	24,242	26,542	2,300	9.5%	
不動産	36,412	38,795	2,382	6.5%	
流通	35,069	36,244	1,174	3.3%	
レジャー・サービス	15,275	16,711	1,435	9.4%	
調整額	△7,151	△8,032	△881	–	
営業利益	**8,415**	**9,756**	**1,340**	**15.9%**	**５期連続増益・３期連続過去最高益**
運輸	517	1,240	723	139.6%	
不動産	6,124	6,678	553	9.0%	
流通	602	777	174	29.0%	
レジャー・サービス	1,142	1,101	△41	△3.6%	
調整額	27	△42	△69	–	
経常利益	**8,514**	**9,674**	**1,159**	**13.6%**	**５期連続増益・３期連続過去最高益**
親会社株主に帰属する当期純利益	**6,058**	**6,250**	**191**	**3.2%**	**５期連続増益・３期連続過去最高益**

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 決算概要

運輸セグメント

営業収益（主な要因）

乗合バス事業では、2024年12月に運賃改定を実施したことに加え、伊勢市等の観光地における輸送が好調に推移したことなどにより増収となりました。
貸切バス事業では、万博をはじめとするイベント輸送で、単価や稼働が上昇したことなどにより増収となりました。

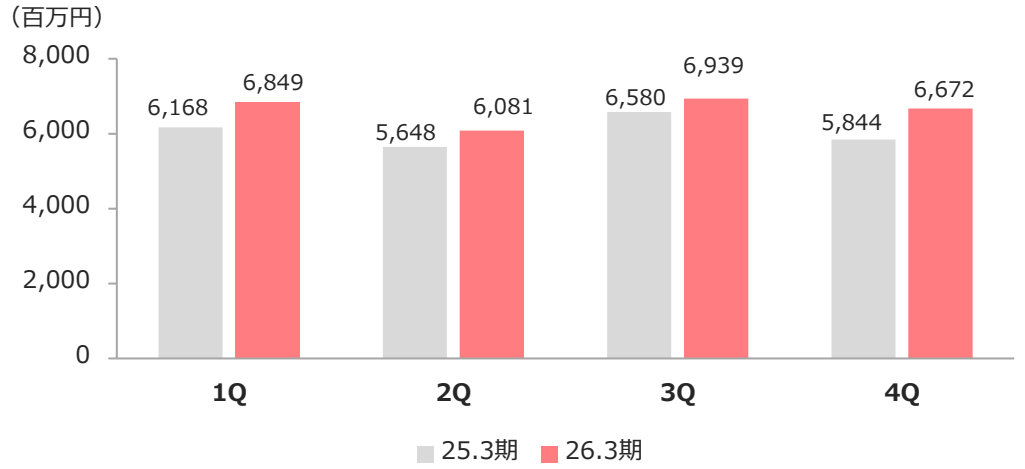
営業利益（主な要因）

営業収益の増加により増益となりました。

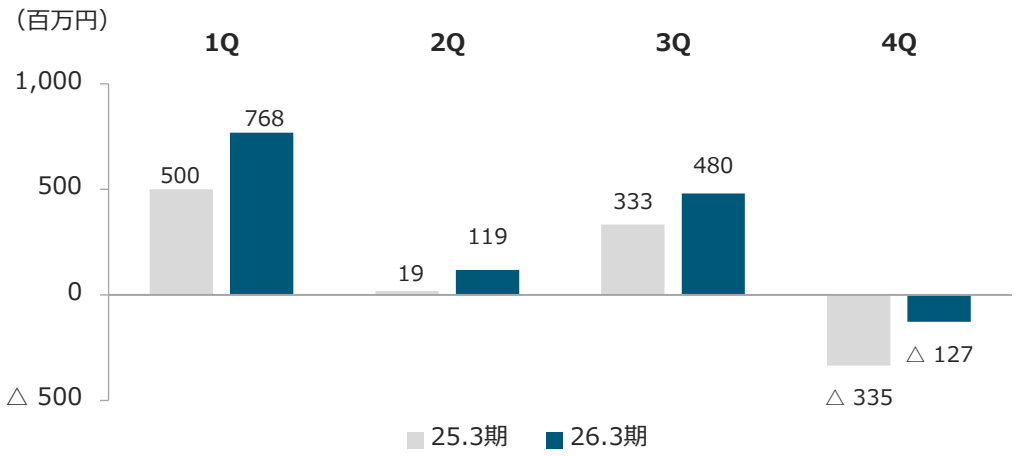
単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	24,242	26,542	2,300	9.5%
営業利益	517	1,240	723	139.6%

［営業収益］



［営業利益］



Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

不動産セグメント

営業収益（主な要因）

分譲事業では、マンション分譲において１戸当たりの販売単価が上昇したことなどにより増収となりました。
賃貸事業では、前期に開業した物件の稼働率向上に加え、2025年８月に開業した「四日市三交ビル」が収益寄与したことなどにより増収となりました。
環境エネルギー事業では、前期に比較して天候に恵まれ、発電量が増加したことにより増収となりました。

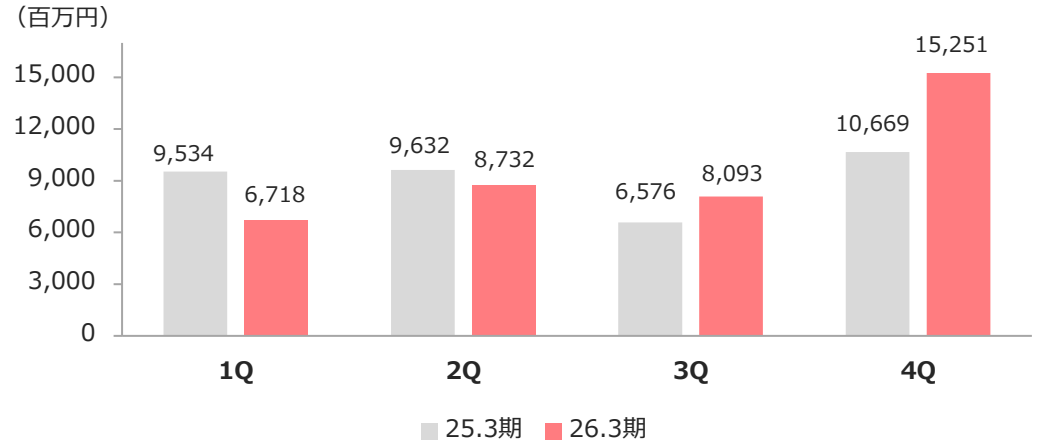
営業利益（主な要因）

営業収益の増加により増益となりました。

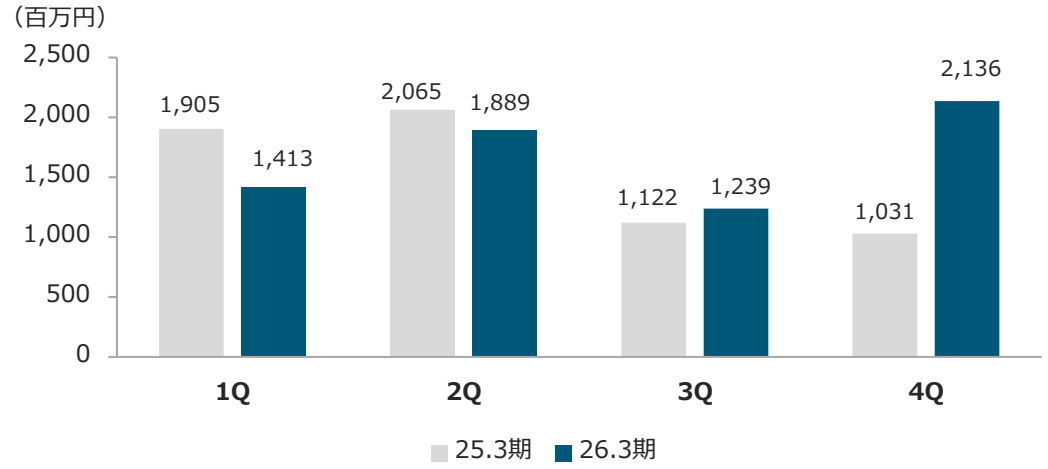
単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	36,412	38,795	2,382	6.5%
営業利益	6,124	6,678	553	9.0%

［営業収益］



［営業利益］



Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

流通セグメント

営業収益（主な要因）

石油製品販売事業では、石油製品の販売単価及び販売数量が低下したことなどにより減収となりました。
生活用品販売事業では、来店客数が増加したことに加え、購買単価も上昇したことにより増収となりました。
自動車販売事業では、トラックの新車販売台数が増加したことなどにより増収となりました。

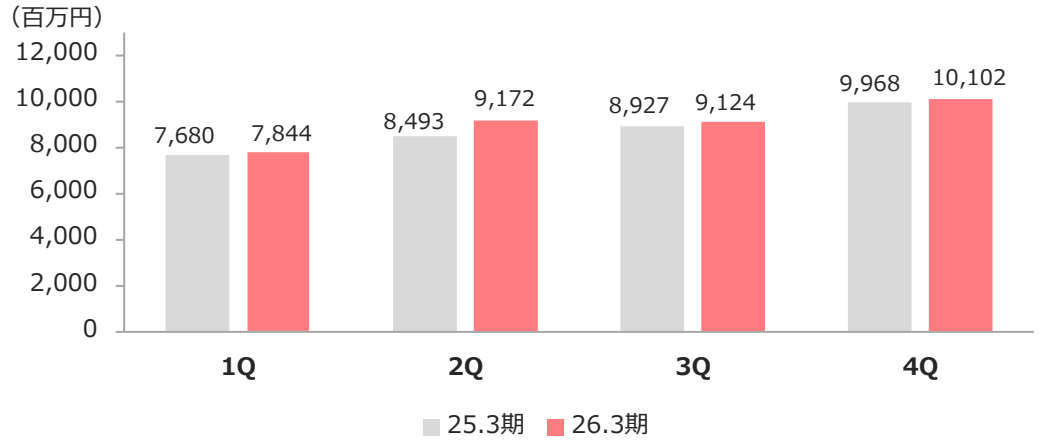
営業利益（主な要因）

営業収益の増加により増益となりました。

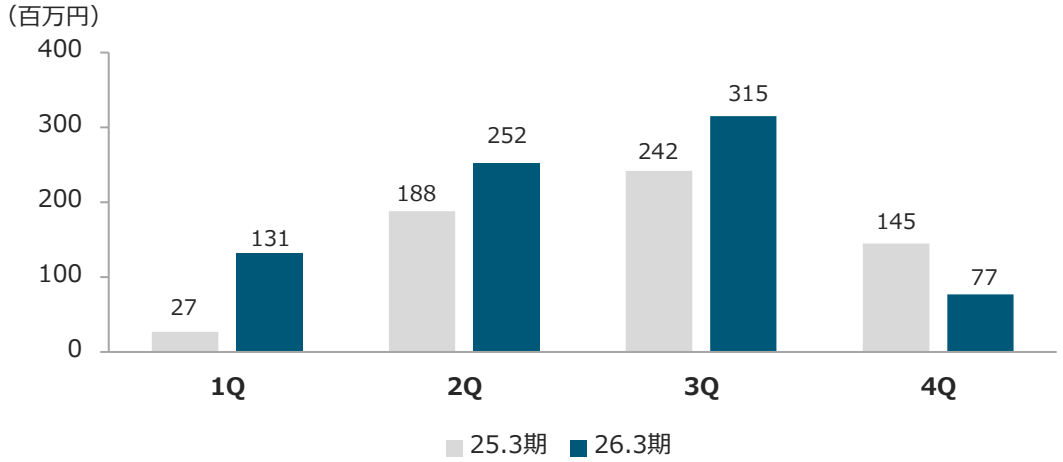
単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	35,069	36,244	1,174	3.3%
営業利益	602	777	174	29.0%

［営業収益］



［営業利益］



Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

レジャー・サービスセグメント

営業収益（主な要因）

ビジネスホテル事業では、万博等のイベントやインバウンド需要の拡大により、客室料金や稼働率が上昇し増収となりました。
ドライブイン事業では、ツアーや団体のお客さまを乗せたバスの立ち寄り台数が増え、売店等の利用が伸びたことにより増収となりました。
旅行事業では、万博をはじめとするツアーの参加人員が増加したことにより増収となりました。

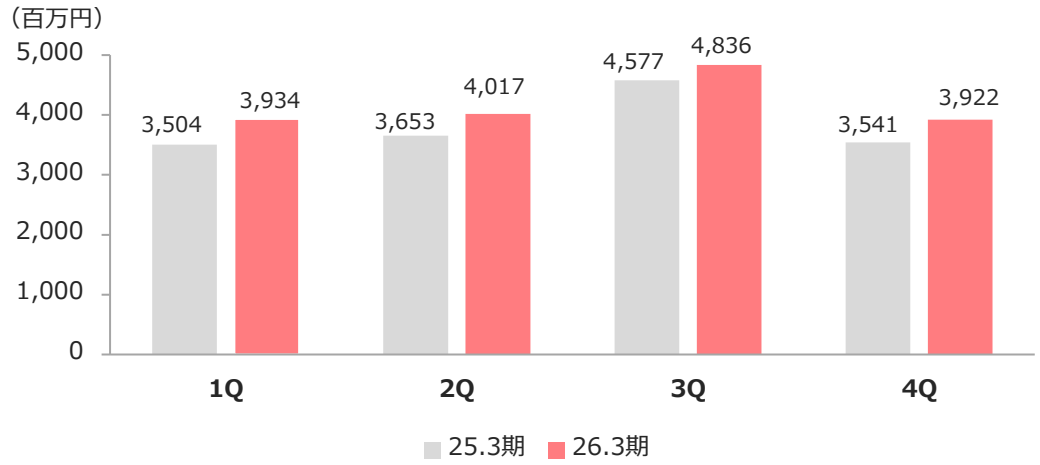
営業利益（主な要因）

ビジネスホテルの施設修繕等の実施により減益となりました。

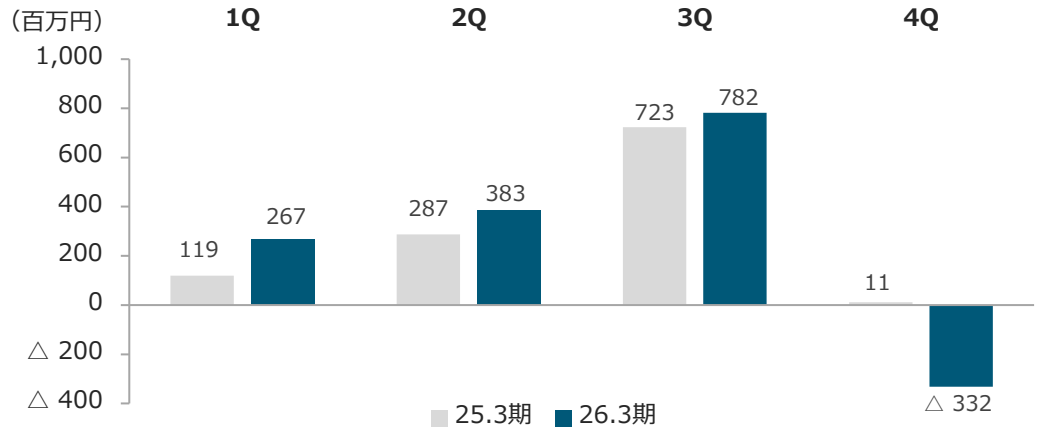
単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	15,275	16,711	1,435	9.4%
営業利益	1,142	1,101	△41	△3.6%

［営業収益］



［営業利益］

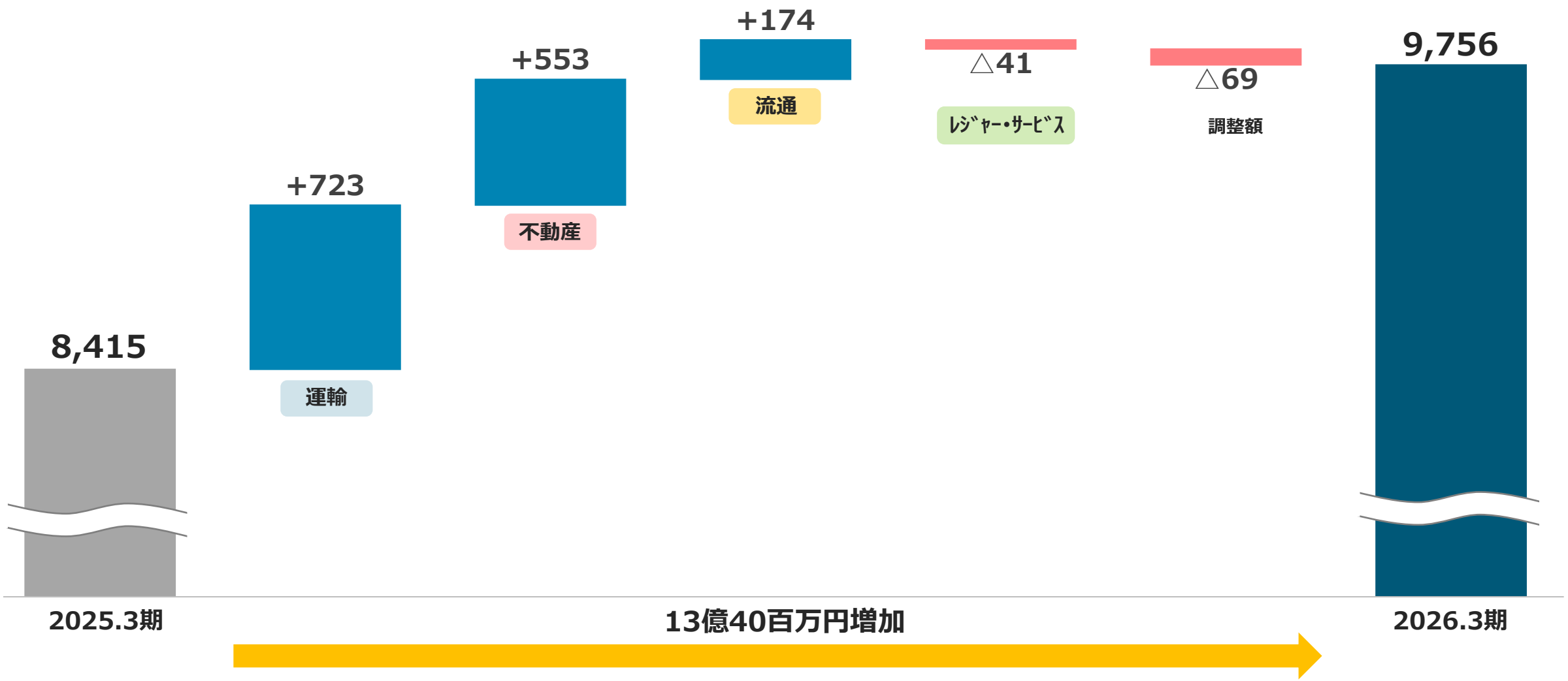


Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 決算概要

営業利益の増減要因

単位：百万円



Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 決算概要

貸借対照表

単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	増減額	要　因
流動資産	45,398	50,814	5,415	販売用不動産の増加
固定資産	136,215	140,697	4,481	保有株式の時価上昇
総資産	**181,613**	**191,511**	**9,897**	
流動負債	56,305	61,459	5,153	
固定負債	62,124	59,516	△2,607	
（借入金）	(79,108)	(80,992)	(1,884)	
負債合計	118,429	120,975	2,546	借入金の増加
純資産合計	63,184	70,535	7,351	当期純利益の計上
負債・純資産合計	**181,613**	**191,511**	**9,897**	

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2025.3期	2026.3期	要　　因
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,104	7,868	税金等調整前当期純利益の計上
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,261	△8,862	固定資産の取得による支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	261	借入金の増加
現金及び現金同等物の期末残高	3,306	2,573	

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2027年3月期　業績予想

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2027年3月期 業績予想

業績予想

分譲事業におけるマンション販売の増加等により営業収益は1,120億円（６期連続増収）を見込んでいますが、生活用品販売事業における「ハンズ名古屋店」閉店の影響等により営業利益は92億円、経常利益は87億円、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円と、それぞれ減益となる見込みです。

単位：百万円

	2026.3期（実績）	2027.3期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	**110,260**	**112,000**	**1,739**	**1.6%**
運輸	26,542	**27,200**	657	2.5%
不動産	38,795	**41,400**	2,604	6.7%
流通	36,244	**32,900**	△3,344	△9.2%
レジャー・サービス	16,711	**17,600**	888	5.3%
調整額	△8,032	**△7,100**	932	―
営業利益	**9,756**	**9,200**	**△556**	**△5.7%**
運輸	1,240	**1,000**	△240	△19.4%
不動産	6,678	**7,200**	521	7.8%
流通	777	**△250**	△1,027	―
レジャー・サービス	1,101	**1,200**	98	8.9%
調整額	△42	**50**	92	―
経常利益	**9,674**	**8,700**	**△974**	**△10.1%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**6,250**	**6,000**	**△250**	**△4.0%**

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2027年3月期 業績予想

運輸セグメント

単位：百万円

	2026.3期（実績）	2027.3期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	26,542	**27,200**	657	2.5%
営業利益	1,240	**1,000**	△240	△19.4%

貸切バスの稼働や単価の上昇等により増収となる見込みです。
人件費等の増加により減益となる見込みです。

流通セグメント

単位：百万円

	2026.3期（実績）	2027.3期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	36,244	**32,900**	△3,344	△9.2%
営業損益	777	**△250**	△1,027	―

「ハンズ名古屋店」の閉店により減収となる見込みです。
営業収益の減少と閉店に伴う費用の増加により減益となる見込みです。

不動産セグメント

単位：百万円

	2026.3期（実績）	2027.3期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	38,795	**41,400**	2,604	6.7%
営業利益	6,678	**7,200**	521	7.8%

分譲物件の販売戸数の増加に加え、前期に開業した賃貸施設の通年での収益寄与や
既存施設の稼働率向上により増収となる見込みです。
営業収益の増加により増益となる見込みです。

レジャー・サービスセグメント

単位：百万円

	2026.3期（実績）	2027.3期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
営業収益	16,711	**17,600**	888	5.3%
営業利益	1,101	**1,200**	98	8.9%

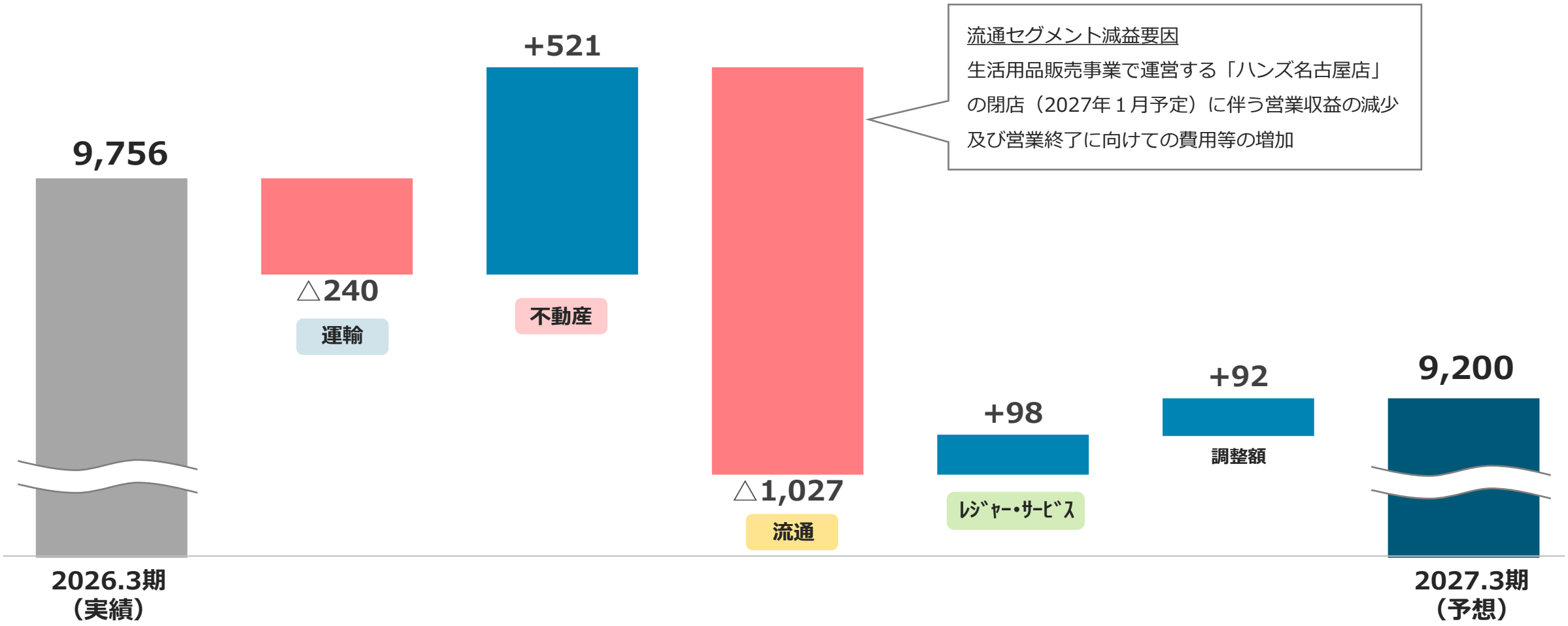
ビジネスホテルの客室単価上昇等により増収となる見込みです。
営業収益の増加により増益となる見込みです。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

2027年3月期 業績予想

営業利益の増減要因

単位：百万円



流通セグメント減益要因
生活用品販売事業で運営する「ハンズ名古屋店」の閉店（2027年１月予定）に伴う営業収益の減少及び営業終了に向けての費用等の増加

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

基本方針及び成長イメージ

基本方針

- □ 安全・安心・安定・快適なサービスの提供
- □ 成長分野の深耕と創造
- □ 市場の変化に対応した事業モデルの構築
- □ サステナビリティへの取組み
- □ DXの推進
- □ 財務体質の改善

成長イメージ

① 不動産事業の強化

太陽光発電で得られる安定したキャッシュ・フローをベースに安定収益基盤となる賃貸ビルを名古屋市、三重県四日市市にて開業※したことに加え、分譲事業では新たな資産回転型のビジネスとして売却型賃貸マンションの開発・売却にも注力します。

※2020年「名古屋三交ビル」、2024年「第２名古屋三交ビル」「名駅三交ビル」、2025年「四日市三交ビル」を開業

② ビジネスホテルの成長

新規開発や他社ホテルの「三交イン」ブランドへのリブランドに注力するとともに、快適な客室提供による差別化と、RevPAR最大化を目指した稼働率・単価の最適化を目指します。

③ 観光需要の取込み

バス・ビジネスホテル・旅館・ロープウエイ等の事業で、「アジア競技大会」「伊勢神宮式年遷宮行事（お木曳行事）」等の大規模イベントや増加するインバウンド需要を確実に取り込み、成長の機会として積極的に活用していきます。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

運輸セグメント

乗合バス

キャッシュレス決済の拡充　～三重交通・名阪近鉄バス･三交伊勢志摩交通・三重急行自動車・八風バス～　収益性向上

●三重交通

インバウンドを含む全てのお客さまがバスを利用しやすい環境を整備するため、三重県内の乗合（路線）バスにおいてクレジットカードやデビットカード、スマートフォン等が利用できるタッチ決済サービスの拡充を進めています。





タッチ決済対応エリア

2025年３月	桑名エリア
2025年12月	伊勢志摩エリア
2026年２月	四日市エリア

2027年３月期中には三重県内の全路線で導入完了予定です。

●名阪近鉄バス

2026年１月、岐阜県西濃地域と名古屋駅を結ぶ高速路線バス「にしみのライナー」において、PayPay（QR コード決済）が利用できるようになりました。

PayPay

自動運転バスの実証実験　～三重交通～

2025年12月、三重県桑名市及び伊勢市において実施された自動運転バスの実証実験に参画しました。





出発式の様子（左：三重県桑名市　右：三重県伊勢市）

特定の条件下で、無人運行が可能な**「自動運転レベル４」**の許認可取得に向けて実施しました。
（実験はレベル２で実施）

Check 車両の遠隔監視を担当



遠隔監視の様子

バス運行に関わる省人化に貢献する取組みとして、三重交通本社（津市）に設置した管理室から、桑名市と伊勢市の広域同時遠隔監視を実施しました。

実証実験に参画することで技術・運用面の知見獲得に努めました。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

運輸セグメント

■ 貸切バス

F1日本グランプリ　～三重交通・名阪近鉄バス等～　収益性向上

2025年４月及び2026年３月のF1日本グランプリの開催にあわせ、「名古屋駅」・「栄バスターミナル」と「鈴鹿サーキット」を直接結ぶ「サーキットエクスプレス」を募集運行しました。





三重交通

引き続き、イベント需要を確実に取り込みます。

プロが選ぶ優良観光バス30選 全国第１位　～名阪近鉄バス～

2026年１月、全国の観光バス会社を対象に、安全運行体制や車両設備、乗務員の接客対応、車内の快適性・清潔さ、旅行会社からの信頼度などを総合的に評価する「プロが選ぶ優良観光バス30選（旅行新聞社主催）」において、名阪近鉄バスが第１位に選ばれました。



名阪近鉄バス

■ 人材確保

社員寮の建替え　～三重交通～

2026年２月、名古屋観光営業所･楠営業所内にある社員寮の建替え工事が完了しました。

社員寮があることで、遠方からの運転士等応募者も受け入れやすくなることから、**採用機会の拡大**につながります。


三重交通社員寮

社員の採用・定着率向上を目指します。

バス整備士おしごと体験会　～三重交通～

2026年２月、バス整備士に興味をお持ちの方を対象とした「おしごと体験会」を開催しました。
バス整備士は、安全運行とサービス品質を維持するうえで欠かせない存在であり、バス運転士と同様に人材の確保は重要な課題となっています。


体験会の様子

バスの安全･安心は、運転士と整備士の確かな技術が支えています。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

不動産セグメント

■ 不動産賃貸

スーパーセンタートライアル津河芸店　～三交不動産～　収益性向上

杜の街（三重県津市）の事業用地に2026年秋にオープンします。



住宅用地

総計画戸数1,860戸の大型団地です。

杜の街の街並み

スーパーセンタートライアル津河芸店建設予定地

所　　在：三重県津市河芸町杜の街
敷地面積：19,135㎡（約5,788坪）
借　　主：㈱トライアルカンパニー
貸　　主：三交不動産㈱
備　　考：土地賃貸

2026年秋 開業（予定）

商業施設誘致の効果

[賃貸事業]

賃貸収入の増加

[分譲事業]

商業施設の開業により、地域の活性化や活気あるコミュニティが形成され、住宅地としての価値が向上し、戸建住宅の販売数増加が見込まれます。

ロードサイド物件の賃貸開始　～三交不動産・三重交通～

◆セカンドストリート三重大学前店

●物件概要
所　　在：三重県津市栗真町屋町
敷地面積：3,339.23㎡（1,010.11坪）
建物構造：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建
建物面積：1,071㎡（約323坪）
借　　主：㈱ゲオホールディングス
貸　　主：三交不動産㈱
備　　考：建物賃貸



2026年3月 開業

津市北部の国道23号沿いに、2026年３月オープン

◆ラー麺　ずんどう屋 津本町店

●物件概要
所　　在：三重県津市本町
敷地面積：1,091㎡（約330坪）
借　　主：㈱トリドールホールディングス
貸　　主：三重交通㈱
備　　考：土地賃貸



2026年4月 開業

既存賃貸ビルの隣接地を取得、2026年４月オープン

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

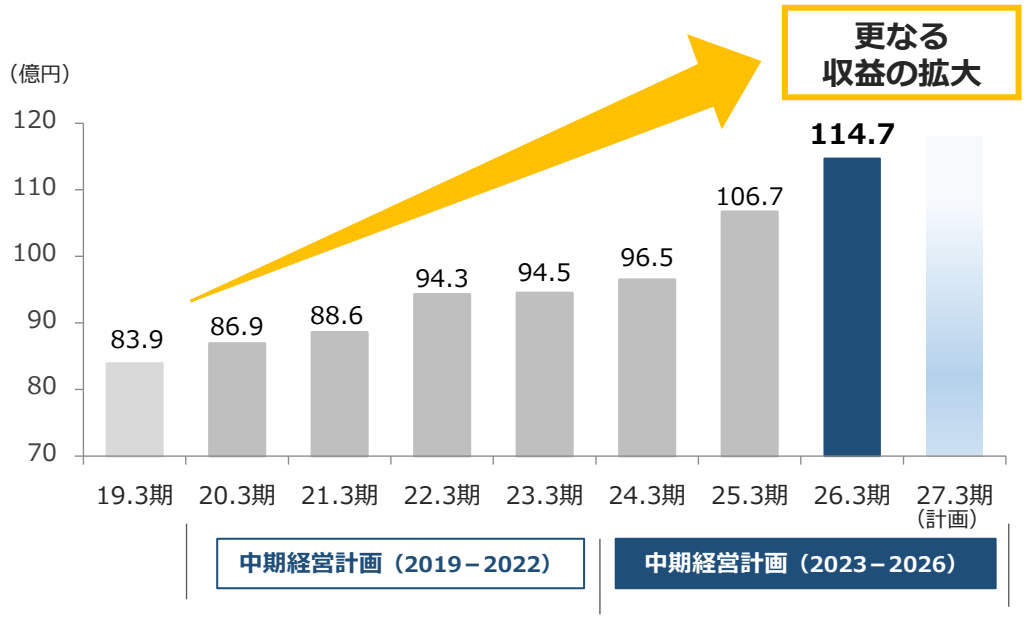
当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

不動産セグメント

■ 不動産賃貸

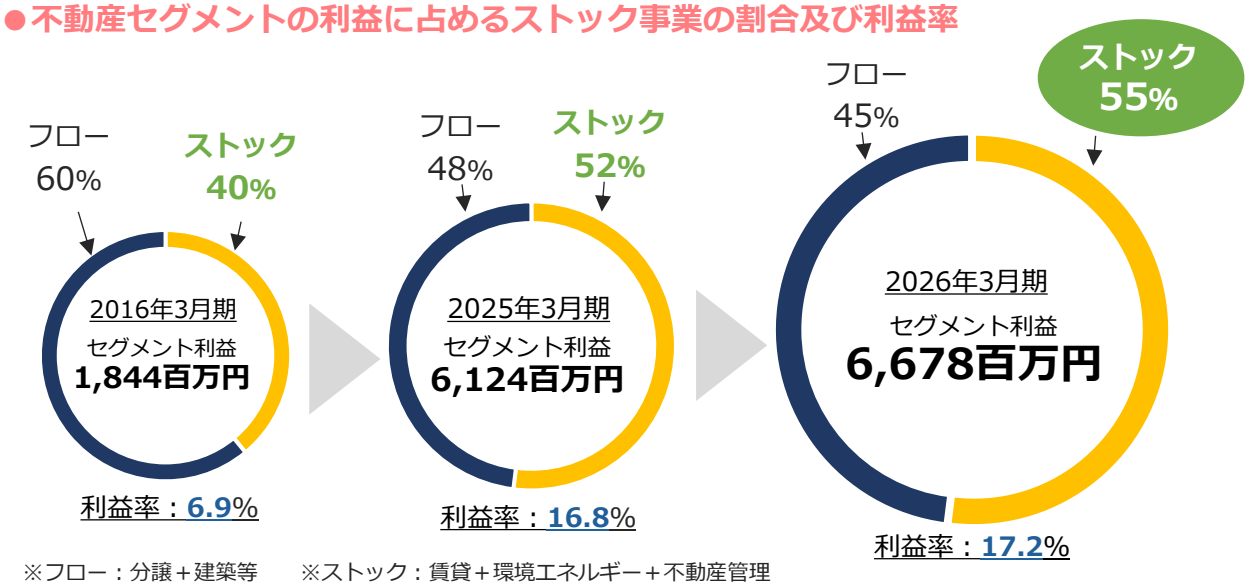
不動産賃貸収益の拡大　～三重交通・三交不動産～

2026年３月期に開業した「四日市三交ビル」や「物流倉庫」の収益、「商業施設（スーパーセンタートライアル）」、「ロードサイド賃貸」の収益が寄与し、2027年３月期の営業収益も100億円（３期連続）を超える見込みです。



今後も財務の健全性を維持しながら、安定収益の拡大を目指して、不動産賃貸への投資を進めます。

●不動産セグメントの利益に占めるストック事業の割合及び利益率



※フロー：分譲＋建築等　　※ストック：賃貸＋環境エネルギー＋不動産管理

2026年３月期も賃貸ビルの収益が増加し、ストック事業の利益構成比がさらに拡大しました。また、2016年３月期と比較すると、利益は約3.6倍、利益率も約2.5倍となり、大きく伸長しました。

●連結営業利益に占める不動産セグメントの利益の割合

2016年3月期	2025年3月期	2026年3月期
40%	73%	68%

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

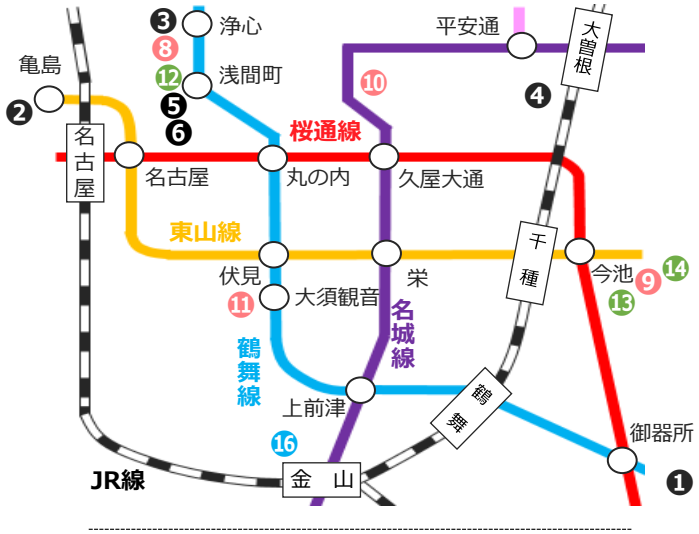
当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

不動産セグメント

■ 不動産分譲

売却型賃貸マンション　～三交不動産～　**収益性向上**

名古屋エリア



三重エリア　❼⓯三重県四日市市（近鉄四日市駅エリア）



❼プレイズシード四日市
（2026年１月竣工）

物件名	総戸数（戸）	竣工時期（予定）	
❶プレイズシード御器所イースト	54戸	2023年７月	
❷プレイズシード名古屋亀島	58戸	2024年１月	
❸プレイズシード浄心	67戸	2025年１月	
❹プレイズシード車道アベニュー	48戸	2025年２月	賃　貸　中
❺プレイズシード浅間町	45戸	2025年６月	
❻プレイズシード名駅北	37戸	2025年８月	
❼プレイズシード四日市	48戸	2026年１月	
⑧西区花の木２丁目計画	44戸	2026年８月	
⑨千種区春岡１丁目計画	44戸	2026年８月	2027年3月期
⑩北区清水３丁目計画	38戸	2026年８月	
⑪中区大須１丁目計画	52戸	2027年１月	
⑫西区花の木１丁目計画	24戸	2027年８月	
⑬千種区今池５丁目計画	18戸	2027年８月	2028年3月期
⑭千種区春岡１丁目Ⅱ計画	42戸	2028年１月	
⑮四日市市西新地Ⅱ計画	60戸	2028年１月	
⑯中区正木３丁目計画　NEW	28戸	2028年６月	2029年3月期

※上記の表には売却済みの物件は記載していません。

名古屋市内の地下鉄沿線を中心に開発を進め、物件売却も計画的に進めます。

■事業概要

一定期間賃料収入を得た後、収益物件として販売する資産回転型のビジネスです。
2026年５月現在、賃貸中７物件、建設及び着工準備中９物件です。

■2026年３月期の竣工・売却物件

竣　工：プレイズシード浅間町、プレイズシード名駅北、プレイズシード四日市
売　却：プレイズシード車道スクエア、プレイズシード御器所ウエスト　※累計売却棟数８棟

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

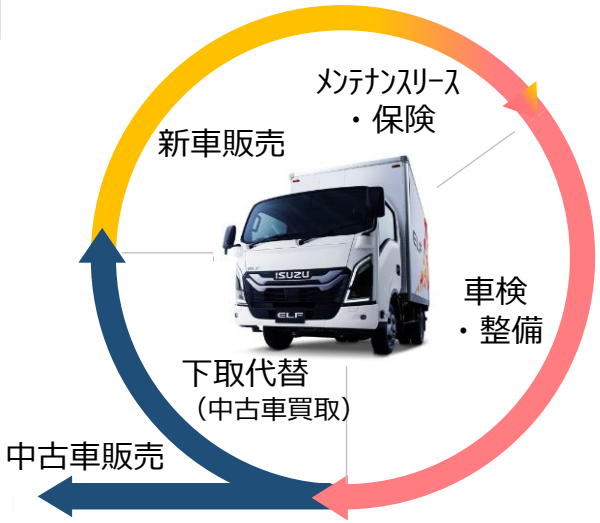
流通セグメント

■ 自動車販売

中古車センターの新規開業　～三重いすゞ自動車～　収益性向上

中古車販売の収益拡大を図るため、2026年４月に三重県桑名市において新たな販売拠点（「名四桑名中古車センター」）を開業しました。







三重県と愛知県の県境に近い、好アクセスの立地を活かして販路拡大を目指します。

UDﾄﾗｯｸｽからの一部事業の取得　～三重交通ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ～　収益性向上

2025年12月、UDトラックスの三重エリアの販売事業を担う（仮称）UDトラックス三重㈱の株式譲り受けについて基本合意に至りました。

●譲り受け対象会社の概要

■社　　名　（仮称）UDトラックス三重㈱
■事業内容　UDトラックスの三重エリア販売事業
　　※UDトラックスから会社分割により承継予定
■拠　　点　三重県内４拠点（津、四日市、上野、伊勢）



2027年４月１日
事業譲り受け予定

2027年１月に閉店予定のハンズ名古屋店の減収を補う事業になる見込みです。

■ 石油製品販売

サービスステーション（SS）のセルフ化推進　～三重交通商事～

2025年12月、石油製品の増販を目的に「伊勢インターSS」をセルフ化しました。販売油量を拡大しながら環境に配慮したSSのセルフ化を計画的に進めます。



伊勢インターSS
（三重県伊勢市）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

レジャー・サービスセグメント

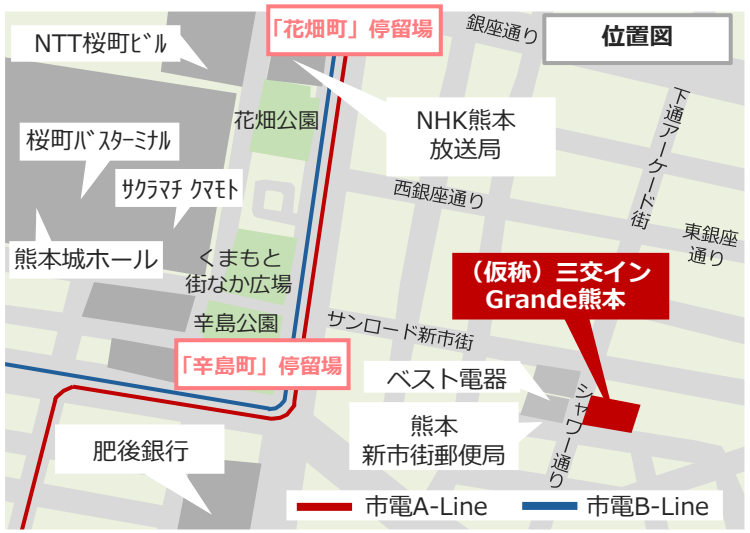
ビジネスホテル

新ホテルの計画　～三交イン～　**収益性向上**

●（仮称）三交インGrande熊本



外観パース



九州１号店、熊本エリアの滞在拠点としてご利用いただける快適なホテルを目指します。

◆物件概要

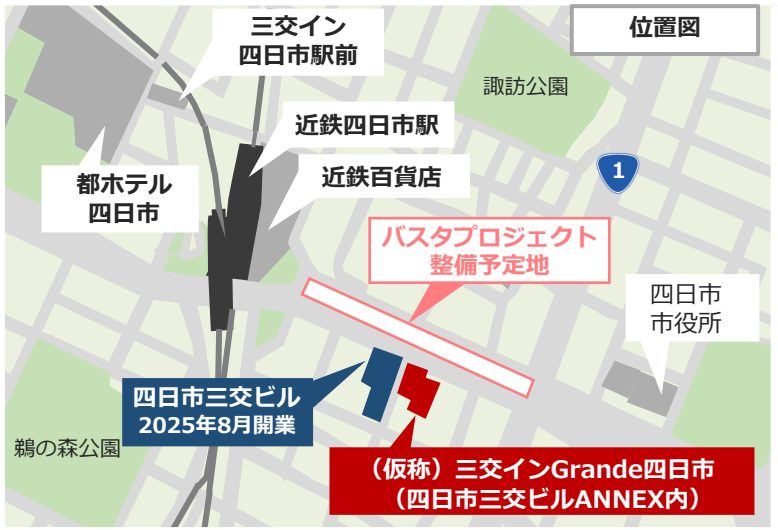
［所　在］　熊本市中央区下通二丁目 ※熊本市電「辛島町」停留場徒歩４分

［客室数］ 140室（予定）

［ｽｹｼﾞｭｰﾙ］着工：2026 年１ 月～　開 業：2027 年秋（予定）

2027年秋
三交イン全体で
16ホテル
2,232室
（予定）

●（仮称）三交インGrande四日市（四日市三交ビルANNEX内）





外観パース

レジャー、ビジネスの両方に対応できる地域ナンバー１のホテルを目指します。

◆物件概要

［所　在］　三重県四日市市浜田町 ※近鉄「四日市」駅徒歩３分

［客室数］ 152室（予定）

［ｽｹｼﾞｭｰﾙ］着工：2026 年４ 月～　開 業：2028 年春（予定）

2028年春
三交イン全体で
17ホテル
2,384室
（予定）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

レジャー・サービスセグメント

ビジネスホテル

ADR（客室単価）の向上　～三交イン～　**収益性向上**

RevPAR（販売可能な客室1室当たりの収益）＝ **ADR**（客室単価）× **OCC**（客室稼働率）

①コンセプトルームの設置（特別な空間の提供）

2026年２月、三交イン名古屋新幹線口において、プロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋（FE名古屋）」のコンセプトルーム「ファイティングイーグルスプレミアムルーム」をオープンしました。





ファイティングイーグルスプレミアムルーム



アメニティグッズ

ADRの向上等により、2027年３月期の営業収益は78億円を見込んでいます。

②ミラブルのシャワーヘッドを三交インホテルズ全ホテルで導入（他ホテルとの差別化）

他ホテルとの差別化を図るため、サイエンス社の「ミラブル」ウルトラファインバブル生成シャワーヘッドを全ホテルで導入しました。今後も、付加価値の高い客室づくりによってADR向上に努めます。



ﾐﾗﾌﾞﾙ ｼｬﾜｰﾍｯﾄﾞ

③ホテルの改修（三交インブランドの維持･向上）



三交イン沼津駅前

（2027年３月期）

三交イン桑名駅前（第２期）

工事期間：2027年１月～３月（予定）

三交イン沼津駅前

工事期間：2027年１月～３月（予定）

ホテルの新規開発について

事業の収益を大きく伸ばすために、ホテル数の拡大をスピード感を持って進めます。熊本、四日市に続く、新たなホテルを開発し、**三交インの全国チェーン**化を推進します。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

イベント需要

第一次お木曳行事　※第二次は2027年に実施

関連収益　～三重交通・三交イン・鳥羽シーサイドホテル・名阪関ドライブイン～　　収益性向上

三重交通

伊勢神宮への路線バスの利用に加え、行事に伴う団体輸送の需要拡大が見込まれることから、貸切バスでの輸送も増加する見込みです。



神都バス

鳥羽シーサイドホテル



なごみフロア客室

三重県外からの神社関連団体や個人の旅行により、宿泊利用のお客さまが増加する見込みです。

第一次お木曳　2026年５月９日～８月２日



三交イン



伊勢市駅前 「別館」Grande

個人旅行客の増加により、三交イン伊勢市駅前（本館･別館Grande）でお客さまが増加する見込みです。

名阪関ドライブイン

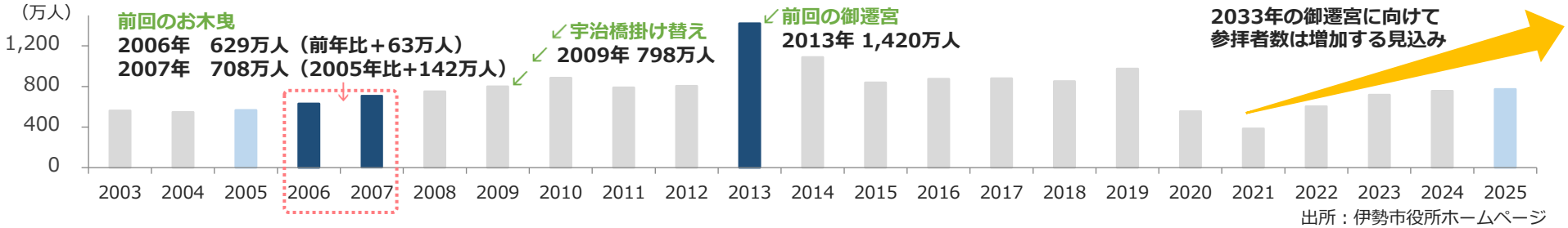
伊勢方面に向かうバスやマイカーの立ち寄り増加により、レストランや売店利用が増加する見込みです。



お木曳遷宮御膳

お木曳とは・・・20年に一度行われる「式年遷宮」に使用する御用材を伊勢神宮に奉納するため、遷宮の７年前から２年間にわたり実施される一大行事です。

●伊勢神宮（内宮･外宮）参拝者数の推移（2003年～2025年）



出所：伊勢市役所ホームページ

第一次お木曳行事の関連収益

約2.0億円（予想）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

イベント需要

アジア競技大会・アジアパラ競技大会

関連収益　～三重交通・名阪近鉄バス・三交イン～　**収益性向上**

①アジア競技大会概要

開催期間：2026年９月19日～10月４日
開催地　：愛知県及び名古屋市ほか
参加規模：アジアの45の国と地域　最大約15,000人の選手・役員

②アジアパラ競技大会概要

開催期間：2026年10月18日～10月24日
開催地　：愛知県及び名古屋市ほか
参加規模：アジアの45の国と地域　3,600人～4,000人の選手・役員


イメージ

三重交通・名阪近鉄バス

選手、大会関係者及び競技観戦者の移動需要が高まり、貸切バスの利用が増加する見込みです。

三交イン

競技観戦者や大会関係者の宿泊需要により名古屋市内及び三重県北部のホテルでお客さまが増加する見込みです。

アジア競技大会・アジアパラ競技大会関連収益

約5.0億円（予想）

お木曳行事・アジア競技大会・アジアパラ競技大会で、関連収益７億円を見込んでいます。

インバウンド需要

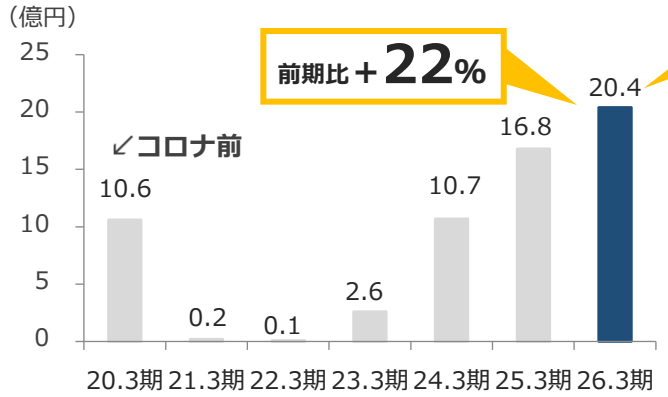
誘客活動

現地商談会への参加　～三重交通グループ～


商談会の様子

2026年３月、三重県が台湾で開催した観光プロモーションに参加し、現地の旅行会社と個別に商談を行いました。

Check インバウンド関連収益の推移



インバウンド関連収益が初めて20億円を超えました。
2027年３月期は、約21億円を見込んでいます。（前期比＋2.6%）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

ESG課題の解決によるSDGsの達成

■ 温室効果ガス排出量削減　資本コスト低減

CDP（気候変動）「B」評価　～三重交通グループ～

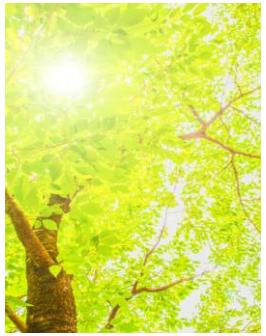
2026年３月期のCDP質問書への回答において「B」スコア評価を取得しました。Bスコアは「マネジメントレベル」とされ、「自社の環境リスクやその影響を認識し行動している」と評価されたことを示しています。

二酸化炭素（CO_2）の排出削減に向けた取組み　～三重交通グループ～

2050年のカーボンニュートラル実現を目指して、グループ内で二酸化炭素の排出量削減に向けた様々な取組みを進めています。

（グループ内の主な取組み）

- ●再エネ電気の使用・・・・・・三重交通、三重交通商事
- ●燃料電池バスの運行・・・・・名阪近鉄バス
- ●使用電力の実質再エネ化・・・三交不動産
- ●ｶｰﾎﾞﾝｵﾌｾｯﾄｶﾞｽの使用・・・・ 三交イン、三重交通商事、鳥羽シーサイドホテル



■ 地域の魅力発信と地域への貢献

熊野古道伊勢路一斉クリーンアップ作戦　～三重交通グループ～

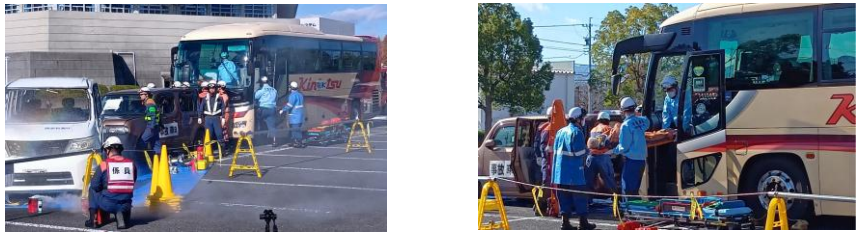
2025年12月、三重県が主催する「熊野古道伊勢路一斉クリーンアップ作戦」にグループ社員が参加し、三瀬坂峠のゴミ拾いや案内板の清掃等を行いました。



当日の様子

名神高速道路合同防災訓練への参加　～名阪近鉄バス～

2025年12月、岐阜県大垣市の消防本部、岐阜県警交通警察隊、NEXCO中日本等と合同で実施された防災訓練に参加しました。



当日の様子（左：車両火災･負傷者対応訓練　右：バスからの救助訓練）

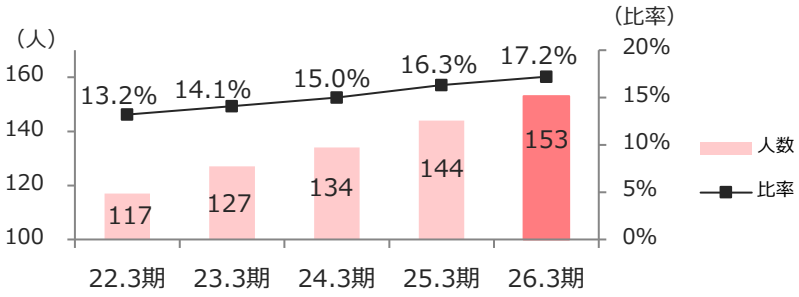
Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

ESG課題の解決によるSDGsの達成

■ 人材の多様性確保　資本コスト低減

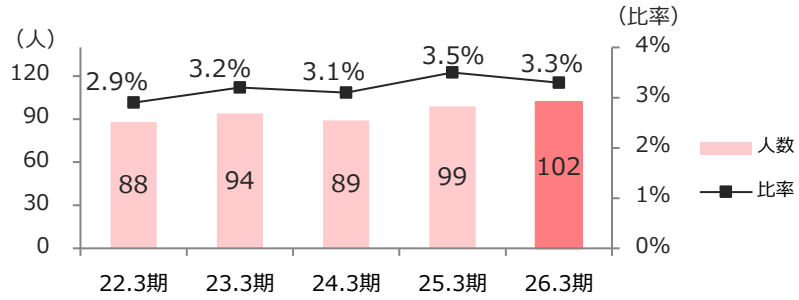
女性管理監督者　～三重交通グループ全体～





2026年３月期末の女性管理監督者比率は17.2%になりました。

障がい者雇用　～三重交通グループ全体～





2026年３月期末の障がい者雇用数は102人になりました。

健康経営優良法人2026　～三重交通グループホールディングス他20社～

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2026」に当社グループ21社が認定されました。（前年比±０社）

健康経営優良法人 2026 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

健康経営優良法人 2026 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門

■大規模法人部門　６社

４回目	三重交通グループホールディングス、三重交通
３回目	名阪近鉄バス、三交不動産、三重いすゞ自動車
１回目	三重交通商事

■中小規模法人部門　15社

４回目	三交イン
３回目	三交伊勢志摩交通、三重急行自動車、八風バス、三交クリエイティブ･ライフ、三交シーエルツー、鳥羽シーサイドホテル、三交興業、御在所ロープウエイ、三重カンツリークラブ、名阪近鉄旅行、三交ドライビングスクール、ミドリサービス、三交ウェルフェア
２回目	松阪カントリークラブ

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

投資

2026年３月期（実績）



バス車両


四日市三交ビル


物流倉庫（名阪上野ドライブイン跡地）


COCORUテラス（御在所山上公園）

バス車両の更新、四日市三交ビル、物流倉庫（名阪上野ドライブイン跡地）、御在所山上公園のCOCORUテラス（展望テラス・ブランコ）、施設修繕等に**約51億円**を投資しました。

2027年３月期（計画）



四日市三交ビルANNEX

バス車両の更新（EV車両の取得を含む）、四日市三交ビルANNEXの建設、三交イン桑名駅前・沼津駅前の施設修繕、御在所ロープウエイの山上施設（新デッキ）の建設等に**約74億円**を投資する計画です。

投資計画の進捗

約130億円（実績）	約100億円（実績）	約51億円（実績）	約74億円（計画）
24.3期	25.3期	26.3期	27.3期

中期経営計画４年間での投資額は、約355億円となる予定です。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

数値計画

実績及び計画最終年度の数値計画

単位：百万円

		2023.3期（実績）	2024.3期（１年目実績）	2025.3期（２年目実績）	2026.3期（３年目実績）	2027.3期（計画）※2026年５月変更	2027.3期 数値計画（計画見直しの経過） 計画策定時（2023年５月）	2027.3期 数値計画（計画見直しの経過） 変更計画（2025年５月）
成長性	営業収益	93,124	98,218	103,849	110,260	**112,000**	110,000	**110,000**
成長性	営業利益	6,374	7,368	8,415	9,756	**9,200**	8,500	**8,800**
成長性	親会社株主に帰属する当期純利益	3,769	4,750	6,058	6 ,250	**6,000**	5,500	**5,900**
健全性	自己資本比率	31.2%	32.5%	34.6%	36.6%	**35%程度**	35%程度	**35%程度**
健全性	有利子負債※1/EBITDA※2倍率	6.2倍	5.8倍	5.4倍	5.0倍	**6倍以下**	6倍以下	**6倍以下**
効率性	ROE（自己資本純利益率）	7.5%	8.5%	9.9%	9.4%	**9.0%程度**	9.0%程度	**9.0%程度**

前中計

中期経営計画（2023－2026）

※1 有利子負債＝有利子負債－現金及び預金　※2 EBITDA＝営業利益＋減価償却費

計画３年目までの実績等を踏まえて、最終年度の営業収益、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益の計画を上方修正しました。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

配当及び配当性向の推移

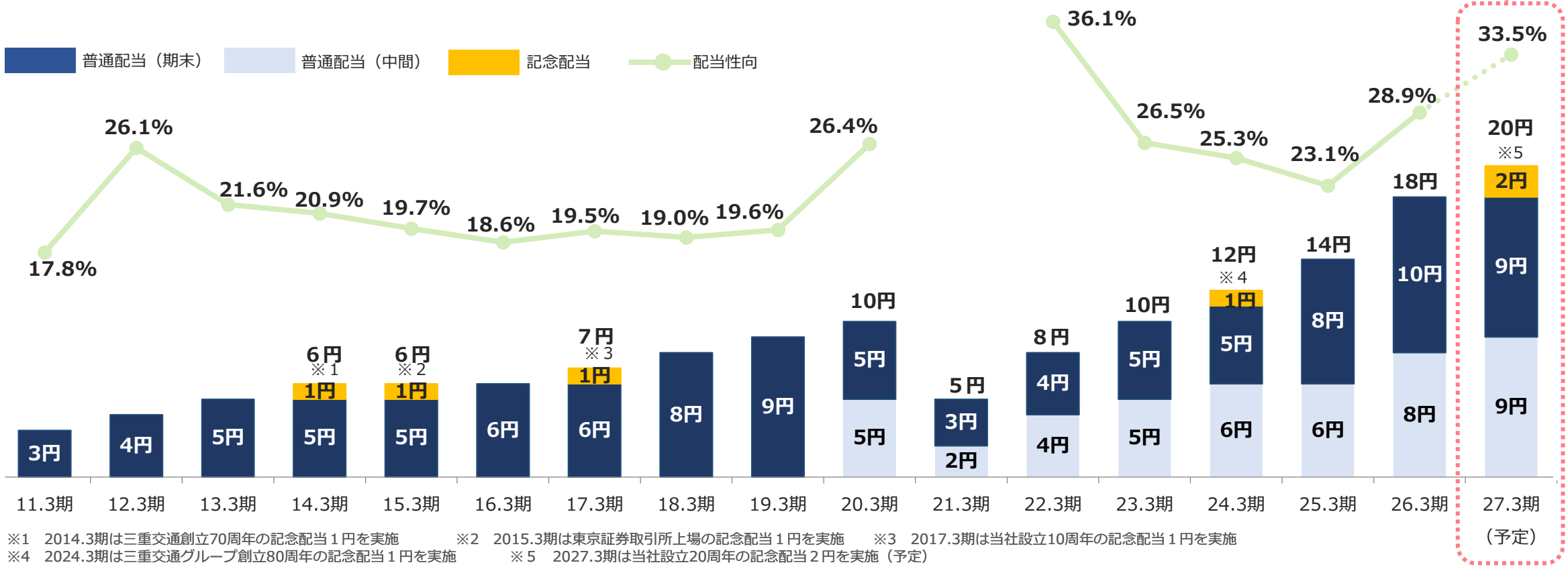
長期にわたり安定した経営基盤の構築に努め、業績の推移及び将来のための内部留保等を勘案しつつ、安定的に配当することを基本方針としています。また、2026年３月期より、株主の皆様への利益還元強化を図る姿勢を明確にするため、各期の配当額においては**連結配当性向30%**を目指し、持続的な利益成長に基づいた株主還元を図ってまいります。

2027年３月期の配当（予定）

配当増加　18円→20円（中間11円※ 期末９円）

※当社設立20周年の**記念配当2円**含む

配当性向向上 28.9%→33.5%



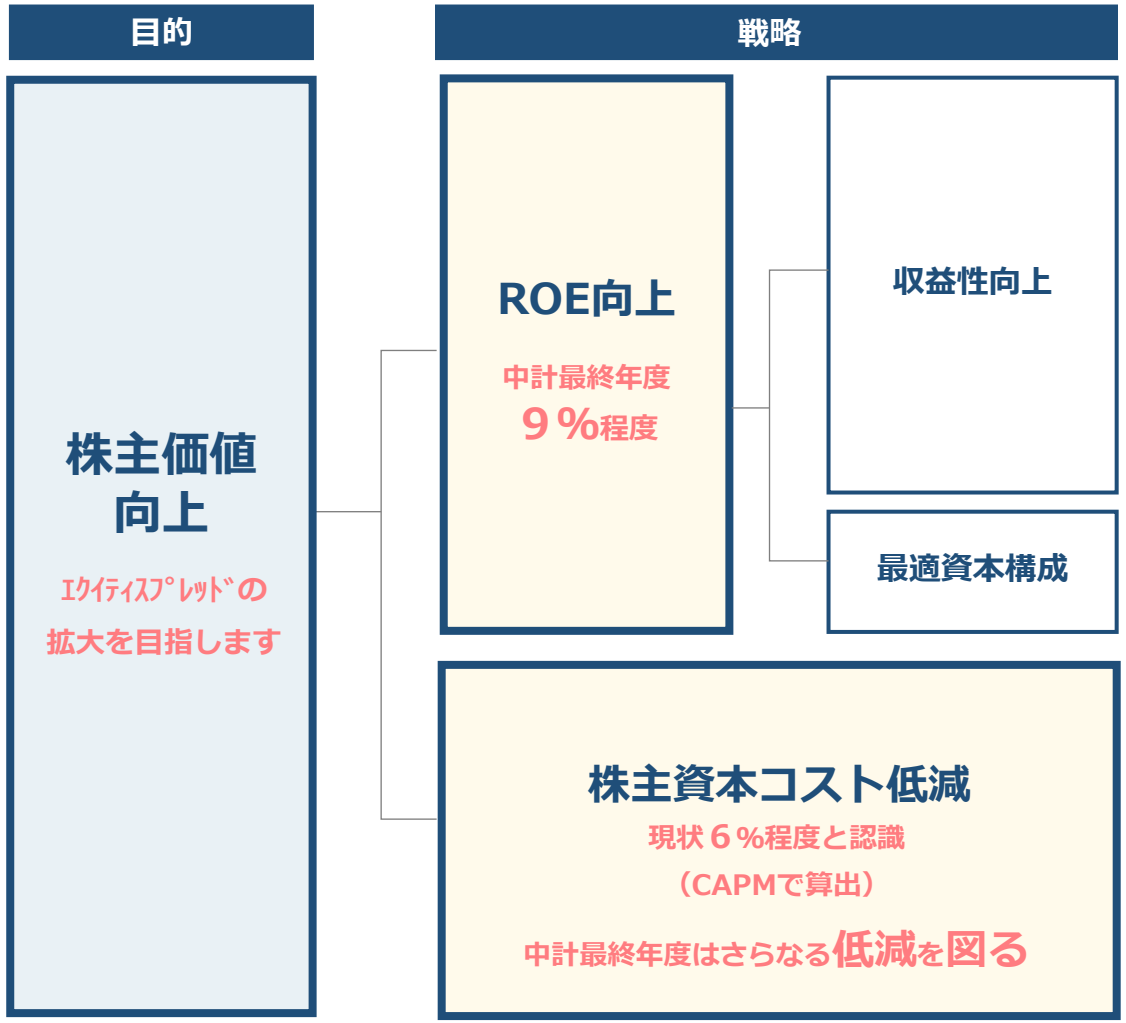
※1　2014.3期は三重交通創立70周年の記念配当１円を実施　　※2　2015.3期は東京証券取引所上場の記念配当１円を実施　　※3　2017.3期は当社設立10周年の記念配当１円を実施
※4　2024.3期は三重交通グループ創立80周年の記念配当１円を実施　　※５　2027.3期は当社設立20周年の記念配当２円を実施（予定）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

当期の取組みと中期経営計画（2023-2026）の進捗状況

資本コストや株価を意識した経営について

当社グループは、ROEの向上と株主資本コストの低減により、株主価値を向上させてまいります。



考え方

■成長領域の拡大

〇名古屋・三重県四日市エリアにおける不動産開発

〇売却型賃貸マンションの計画的な開発及び売却

〇ビジネスホテル「三交イン」の新規開業・リニューアル（改修）

■価格改定（コスト上昇分を価格転嫁）

〇運賃改定（乗合バス･貸切バス･タクシー･ロープウエイ）

〇料金見直し（ビジネスホテル･旅館等）

■費用削減

■財務健全性

〇自己資本比率、有利子負債/EBITDA倍率を意識した財務レバレッジの最適化

■安全・安心

〇安全投資・BCP

■ESG情報開示の充実

■IR活動の強化

■株主還元

〇安定配当及び株主還元の強化

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

参考資料

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

会社概要

三重交通グループホールディングス

（2026年３月末現在）

設立年月日	2006年10月2日 ※1944年2月11日　三重交通創立
本社所在地 （本店）	〒514-0032 三重県津市中央1番1号 TEL. 059-213-0351
代表者	代表取締役社長　竹谷　賢一
資本金	3,000百万円
発行済 株式総数	107,301,583株 （自己株式 6,779,639株を含む）
株主数	21,631名

運輸セグメント

・三重交通　・名阪近鉄バス　・三交伊勢志摩交通　・三重急行自動車　・八風バス
・三交タクシー

不動産セグメント

・三交不動産　・三重交通コミュニティ　・三交不動産鑑定所

流通セグメント

・三重交通商事　・三交クリエイティブ・ライフ　・三交シーエルツー　・三重いすゞ自動車
・エム・エヌ・ボディーワークス

レジャー・サービスセグメント

・三交イン　・鳥羽シーサイドホテル　・三交興業　・御在所ロープウエイ
・三重カンツリークラブ　・松阪カントリークラブ　・名阪近鉄旅行
・三交ドライビングスクール　・ミドリサービス　・三交ウェルフェア　・三重県観光開発

（連結子会社23社、松阪カントリークラブ、三重県観光開発は持分法適用関連会社）

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

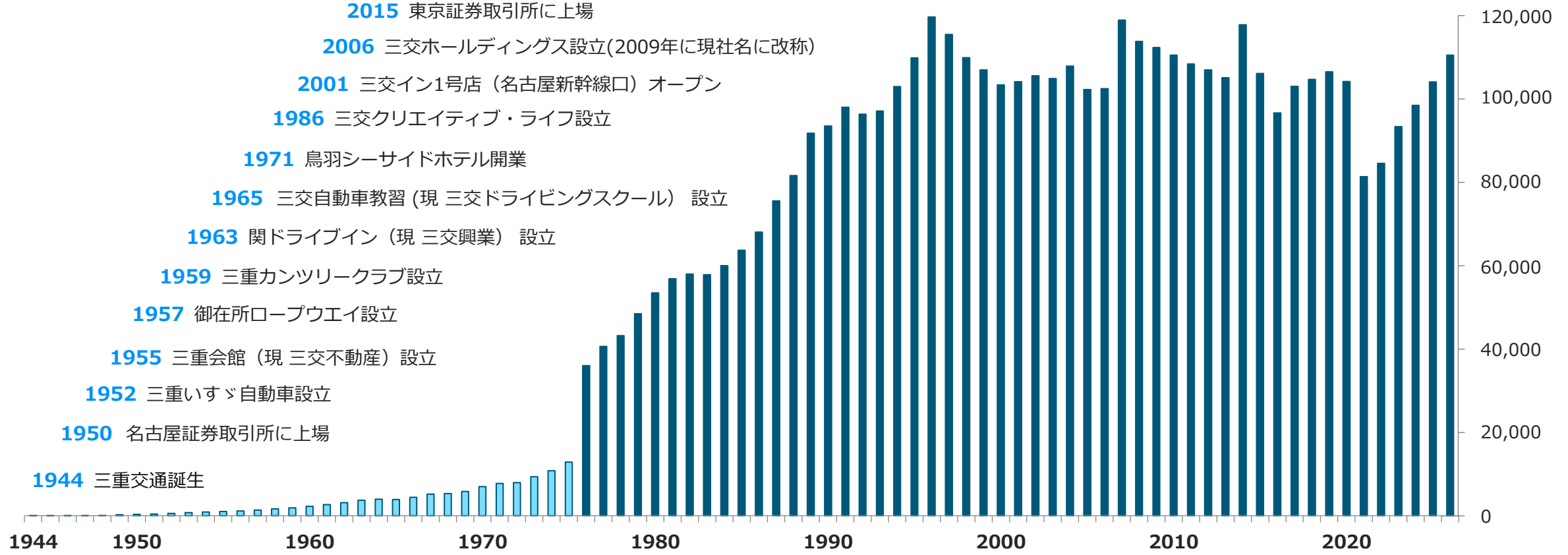
沿革

運輸業の信用力を背景に事業の多角化を進めて成長

営業収益の推移

※1975年３月期以前は三重交通単体の数値

2026 三重交通グループホールディングス設立20周年
2024 三重交通グループ創立80周年
2022 東京証券取引所 プライム市場移行
2015 東京証券取引所に上場
2006 三交ホールディングス設立(2009年に現社名に改称)
2001 三交イン1号店（名古屋新幹線口）オープン
1986 三交クリエイティブ・ライフ設立
1971 鳥羽シーサイドホテル開業
1965 三交自動車教習 (現 三交ドライビングスクール） 設立
1963 関ドライブイン（現 三交興業） 設立
1959 三重カンツリークラブ設立
1957 御在所ロープウエイ設立
1955 三重会館（現 三交不動産）設立
1952 三重いすゞ自動車設立
1950 名古屋証券取引所に上場
1944 三重交通誕生



Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.

お問い合わせ先

三重交通グループホールディングス　企画室　IR担当
電　話：059-213-0357
E-mail：kikaku@sanco.co.jp
時　間：9時00分～18時00分

本資料に掲載されている計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

Copyright (c) Mie Kotsu Group Holdings, Inc. All rights reserved.